

クロマツ

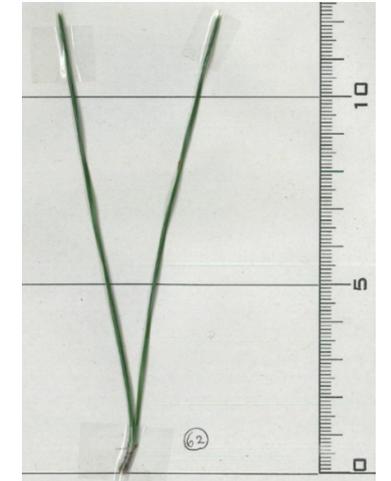
【^{くかく}区画⑫(62)】

がくめい 学名	<i>Pinus thunbergii</i> Parl.	ぶんるい 分類	マツ科マツ属
ぶんぶ 分布	とうほくちほう きゅうしゅう かいがんちほう 東北地方～九州の海岸地方	じゅこう 樹高	40m程度になる常緑高木

〈特徴等〉

なまえ ゆらい 名前の由来	・ 幹が黒っぽいことが名前の由来となっている。		
は とくちょう 葉の特徴	① 常緑 ・ 落葉	② 広葉 ・ 針葉	
	③ 対生 ・ 互生	④ 単葉 ・ 複葉	⑤ 鋸歯縁 ・ 全縁
かいかとう 開花等	・ 4月に紫紅色(紫がかった赤色)の雄花を数個咲かせ、下部に雌花を群生させる。		
けつじつとう 結実等	・ 10～12月に、長さ5～7cm、直径3cm程度の卵のような形の球果(松ぼっくり)をつける。		
ほか その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別名はオマツ(雄松)であり、メマツ(アカマツの別名)に対して荒々しい感じがすることから名づけられた。 ・ 球果(松ぼっくり)は木から落ちる時期が様々なため、1年中入手できる。 		

〈写真〉

		
じゅもく 樹木 (4/3)	じゅひ 樹皮 (4/3)	は つ かつ 葉の付き方 (4/3)
		
は 葉 (6/12)	はな 花 (/)	こうしんよてい 更新予定 果実(実) (4/3)

〈参考文献〉 牧野富太郎 (2017) 『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p. 142.
林 将之 (2018) 『葉で見わかる樹木 増補改訂版』小学館, p. 277.